

música @ 津和野

み行 たつ いて な

って思う…
風景画のような音楽たち。

柳井勇の奏でる
風光水土そして命。



Yanai Isamu
E-mail : yan713-1@sun-net.jp
HP : www.sun-net.jp/~yan713-1/



柳井勇 ◆島根県津和野町在住。農業をしながら音楽活動を行う。アンデスのケーナ、日本の篠笛などの笛類とドラム、パーカッションなどの打楽器を主として演奏。講師活動、作曲も行う。◆六子の歌う「ちぎれ雲」「命通う道」の作者。◆地元CATV「サンネットにちはら」や「FMいずも」の番組に楽曲提供。◆他アーティストへのレコーディング参加、共演も多数。◆Grupo VIENTOS主宰。ドンヒヤララ主宰。◆石見地方の神事の楽を奏でる伶人でもあり、郷土芸能を大切に、継承に尽力している。

アルバム紹介 ◆これまで2作のオリジナルアルバムを発表。いずれもボーカル曲と器楽曲を織り交ぜて収録。◆彼のメロディー、歌詞、歌声、自ら奏でるギターや、笛、パーカッションなどのアコースティックな楽器の数々、それらが織り成すその音世界は、聴く者の心を温かく包み、彼が描き出す景色へと誘う。

※伶人とは音楽を奏する人、の事で特に雅楽や神事の楽を演奏する人の事。

PAXREC paxrecproduct@gmail.com



1st.アルバムCD「音手紙」/柳井勇

12曲入り ¥2500(税込)

「米の酒と笑い声と自慢ばなし」「ちぎれ雲」収録

◆南米フォルクローレのテイストを軸にしながらもリズムの祖、アフリカ、そして忘れてはならない日本人の心とが融合する独特の音世界。

【2008年発表】



2nd.アルバムCD「命通う道」/柳井勇

13曲入り ¥2500(税込)

「太陽とみんな」「命通う道」収録

◆前作を踏襲しつつも「命と自然」という大きなテーマに挑む。石見の情景や季節感を表し、自然愛、人間愛にあふれたアルバム。

【2015年発表】



津和野町 ◆島根県の西端に位置し、平成17年、旧津和野町と旧日原町が合併し、現在の津和野町となった。◆津和野地区は亀井氏を藩主とする津和野藩の城下町。鯉の泳ぐ殿町のお堀、津和野城跡、乙女峠、太鼓谷稲成神社、鷺舞の弥栄神社、流鏝馬の鷲原神社など名所旧跡も多数。文豪、森鷗外や哲学者、西周など多くの文化人を輩出した歴史と文化の町。◆日原地区は天領として栄えた。県内最高峰の安蔵寺山のブナ原生林から流れ出る岩清水はやがて、一級河川、高津川に注ぐ。高津川は、水質日本一に名を連ねる清流だ。この美しく豊かな自然に育まれた、溪流わさび、鮎、イノシシ肉、タラの芽など山菜は良質の食材として食通の舌を唸らせる。◆平成27年4月には幕末の津和野藩を描いた百枚の画を基にしたストーリー『津和野今昔～百景図を歩く』が日本遺産に認定された。◆柳井勇氏は日原地区の出身で、幼少の頃から多くの楽器を奏で、地域に根付いた音楽を発信し続けている。

津和野町ホームページ www.town.tsuwano.lg.jp/

津和野観光情報 www.tsuwano.ne.jp/kanko/

なつかしの国石見 www.all-iwami.com/index.php